

令和3年9月1日
中部地方整備局
名古屋港湾事務所

伊勢湾に流れ込んだ流木等の漂流物を回収 ～海洋環境整備船「白龍」で8月の長雨による漂流物を回収～

東海地方で8月12日より続いた長雨の影響で伊勢湾内に流れ込んだ漂流物を海洋環境整備船「白龍」（名古屋港湾事務所所属）により回収しました。

「白龍」は中部地域の経済を支える港湾を利用する船舶や食を支える漁船などが漂流物により航行不能とならないよう、また海岸等へ漂着する前に回収するため、伊勢湾・三河湾の海域について点検・清掃を行っています。

漂流物の回収は、8月17日から8月26日までの7日間で4月から8月16日まで（約4ヶ月半）の回収量（63m³）を超える86m³を回収しました。また、直径が80cmもある流木や長さが15mを超える流木などは、切断して回収しました。今後も航行船舶の安全確保のため、「白龍」は継続して海域の点検及び清掃を行っていきます。（参考資料 - 1, 2）

【参考】

「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域（約1,800km²）の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。（参考資料 - 3）

○配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

副所長 板生 考司(いたお たかし)

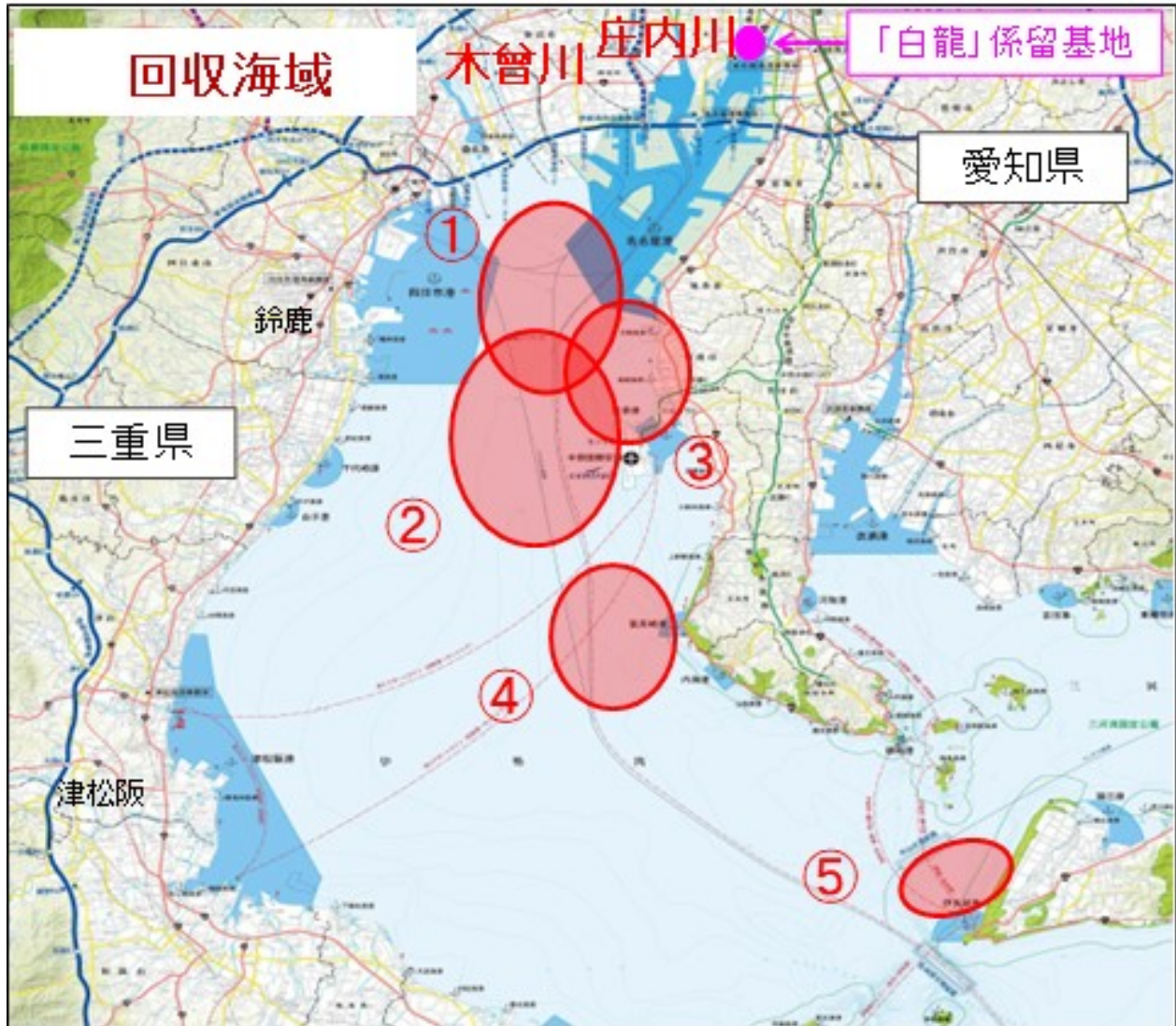
海洋環境・防災課長 小西 敦也(こにし あつや)

Tel 052-651-6791

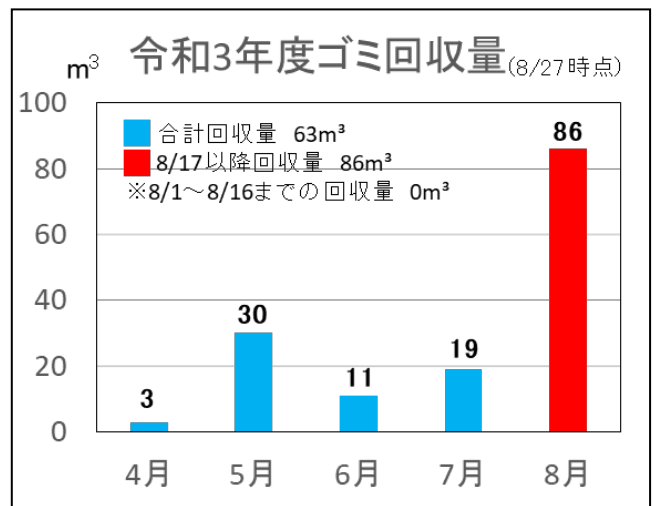
※写真の提供を希望される場合もお問い合わせください

【海洋環境整備船「白龍」漂流物回収位置及び回収量】

○活動場所及び活動記録



| 日時 | 主な回収エリア | 回収量 | | | (参考)流木本単位 | 点検・清掃面積 (ha) |
|----------|---------|----------------|---------|---------|-----------|--------------|
| | | 漂流物 ※流木以外 (m3) | 流木 (m3) | 合計 (m3) | | |
| 8月17日(火) | ① | 10 | 9 | 19 | 5 | 2,000 |
| 8月18日(水) | ① | 3 | 14 | 17 | 10 | 2,000 |
| 8月19日(木) | ① | 5 | 10 | 15 | 10 | 2,000 |
| 8月20日(金) | ② | 0 | 10 | 10 | 7 | 4,000 |
| 8月23日(月) | ② | 0 | 16 | 16 | 5 | 4,000 |
| 8月24日(火) | ③ | 5 | 1 | 6 | 2 | 5,000 |
| 8月26日(木) | ④、⑤ | 2 | 1 | 3 | 3 | 10,000 |
| 合計 | | 25 | 61 | 86 | 42 | |
| | | 86 | | | | |



【活動写真】



漂流物の回収に向かう「白龍」(8月19日)



「白龍」のクレーンで流木を回収(8月23日)



手作業で流木の切り分け(8月23日)



「白龍」のコンテナに貯まった漂流物(8月23日)



「白龍」のデッキに積まれた流木等(8月19日)



陸揚げされた漂流物(25m³)(8月18日)

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面の漂流物(浮遊ゴミ)の回収作業を行う
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業を行う
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施する
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開を行う



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



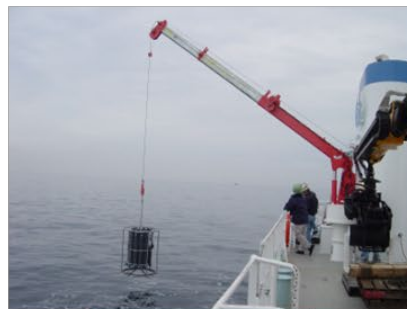
流木回収状況



漂流物回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ